

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス あ・りーさだ+1				支援プログラム		作成日	令和7 年	2 月	1 日
法人（事業所）理念		ハンディがあっても、自立し、家庭を持ち、安心して子どもを育てられる場所をつくることを願い、みんなが一緒に生きていける環境、社会を目指します。									
支援方針		理念のもとで療育が必要な子どもに対し、一人ひとりに応じた計画を立て関係機関と連携を図り、本人の意思を尊重した支援を行ってまいります。 ご家族様に寄り添いながら、ご家族参加イベントや面談等を重ね、信頼関係を築き、ご理解とご協力をお願いし常に感謝の気持ちを忘れずに温かい気持ちで楽しくお子様の自立に向けた支援をさせていただきます。									
営業時間		平日 （長期休み）	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
営業時間		土曜	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	身辺自立： ・手洗いやトイレトレーニング中の児童はトイレの時間をはかりトイレに誘導。 ・忘れ物防止のためかごを用意し自分の物が管理できるようにしている。 生活： ・スケジュール確認を行い、時間や場所の切り替えが出来る様声掛けも行っている。									
	運動・感覚	運動： ・体育館を活用し縄跳びやサッカー等、体力強化に努める。 感覚： ・工作・クレイアニメの活動を通して、指先の細かな動きが習得できるよう促す。 ・畑作業では、体を動かし土にも触れ五感を刺激し基礎体力の向上を促す。									
	認知・行動	・先の行動を声掛けし予告して見通しを立てスムーズに次の行動が出来る様に支援する。 ・一人ひとりに応じた場面の切り替えをする。									
	言語 コミュニケーション	・遊びの中で会話を楽しみコミュニケーションを取れるよう促す。 ・場面にふさわしいコミュニケーションを促し、表出できる様に支援する。 ・SSTトレーニングを通じて場面にふさわしい立ち振る舞いや言葉の表現力を強化。									
	人間関係 社会性	・集団活動を通じて協力することの喜びや達成感を感じてもらい、我慢、待つ、譲り合う、思いやりを意識し言葉で伝えることが出来る様な支援を行っていく。 ・実際に集団活動で起きることに対して、その場に応じた行動と一緒に児童たちと考え思いやりのある言葉の習得を目指す。 ・集団活動で役割を与えられる児童に対しては、一人ひとりに合った役割を与え責任感や達成感を味わえるよう支援をする。 ・集団の中で一人ひとりの長所を伸ばしていく場面を増やし、苦手なことにも挑戦出来る様スモールステップで成長を見守る。									
家族支援		・本人にとって何が必要か保護者様と面談等を重ね、連携してまいります。 ・学校等の関係機関、保護者様、事業所で連携し支援に繋がます。					移行支援		・必要があれば事業所でもアプローチし課題解決に努めます。 ・進学先にサポートブックを作成します。		
地域支援・地域連携		児童会館等を利用している児童について、困りごとや課題を明確にし連携します。					職員の質の向上		事業所内で研修を開き、職員のスキル向上に向けて日々努力していきます。		
主な行事等		餅つき、畑作業（種まき～収穫・畑じまい）、施設見学、お祭り、避難訓練、サッカー大会、コマ検定、クッキング、ダンス発表会、スキー、保護者イベント、茶話会等									